

がんばれ ニッポン！ 東京大会を目指して



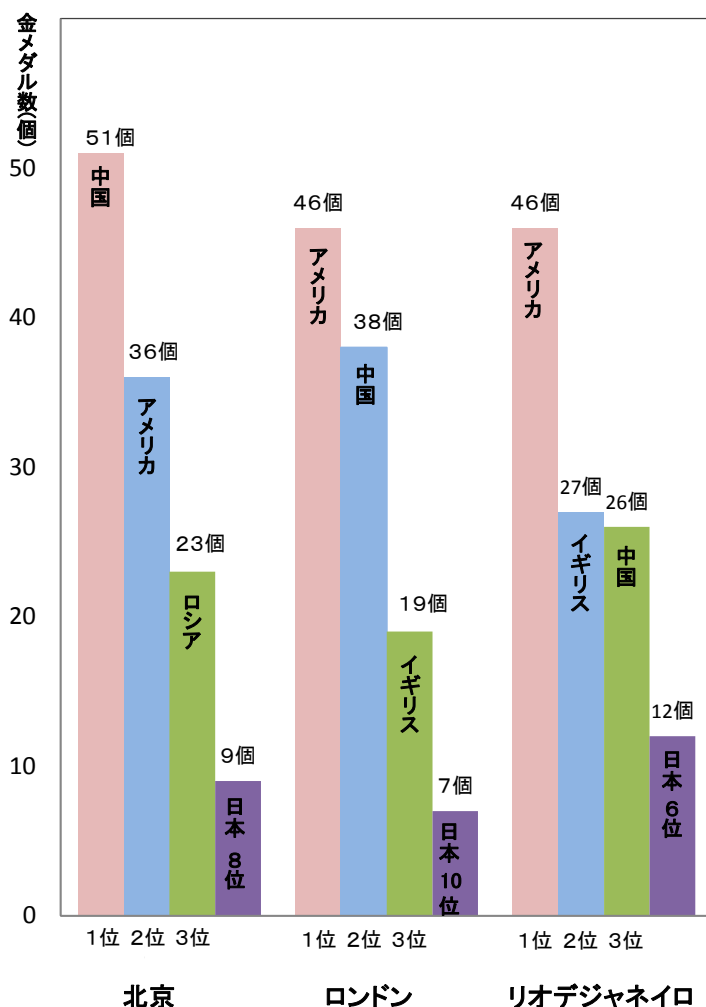
すでに日本オリンピック委員会の掲げる東京五輪の目標は「金メダル数世界第3位」というもの。今大会は6位でしたので、3位だった中国の26個を抜くのは至難の業となりましょう。

そこで選手の育成強化にかかる資金の捻出をどうするかにかかってきます。英国はロンドン大会に向け、公営くじの収入を元手に、「勝てる競技」への集中投与をしました。合宿費や遠征費など、求めるものが高ければこうした予算の確保は喫緊の課題ですね。

【オリンピック 日本のメダル数の推移】

回	開催年	開催都市	日本のメダル数			
			金	銀	銅	合計
5	1912	ストックホルム	0	0	0	0
7	1920	アントワープ	0	2	0	2
8	1924	パリ	0	0	1	1
9	1928	アムステルダム	2	2	1	5
10	1932	ロサンゼルス	7	7	4	18
11	1936	ベルリン	6	4	8	18
15	1952	ヘルシンキ	1	6	2	9
16	1956	メルボルン ストックホルム	4	10	5	19
17	1960	ローマ	4	7	7	18
18	1964	東京	16	5	8	29
19	1968	メキシコ・シティ	11	7	7	25
19	1972	ミュンヘン	13	8	8	29
21	1976	モントリオール	9	6	10	25
23	1984	ロサンゼルス	10	8	14	32
24	1988	ソウル	4	3	7	14
25	1992	バルセロナ	3	8	11	22
26	1996	アトランタ	3	6	5	14
27	2000	シドニー	5	8	5	18
28	2004	アテネ	16	9	12	37
29	2008	北京	9	6	11	26
30	2012	ロンドン	7	14	17	38
31	2016	リオデジャネイロ	12	8	21	41

【金メダル獲得・上位国の状況】



「多様性の中で」
8月に初の女性東京都知事が誕生した。選挙結果の分析では、有権者は性別に偏りはなく「政策と公約」「クリーンさ」「リーダーシップ」等を重視して選択したという。全国では7人目の女性知事となる。世界には、英国・韓国・韓国やローマ市・パリ市を初めとして政界女性リーダーが大勢活躍している。

2020年東京五輪では、5競技18種目が追加決定され、内4競技が五輪初採用である。「伝統と新しさがあり、若者を引き付ける種目も融合し、ダイナミックで刺激的な組合せ」と公表された。

女性や若者の活躍にスポーツが向けられている。有権者がそれぞれの価値観、尺度による評価・選択には多様性があることが当然のことと思う。

「このような時だからこそ、水戸将史議員の主張に共鳴する支援者の連帯感をなお一層深めていこうではありませんか。」

水戸応援団
Mチーム 益田正廣

今月の
水戸まさし応援団

- ◆HP 「水戸将史」で検索
- ◆メール kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face book 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter @mito_kickoff
- ◆メルマガ 登録はHPから

- ◆国会事務所
〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館601号室
TEL:03-3508-7027 FAX:03-3508-3827

- ◆地元事務所
〒245-0008
横浜市泉区弥生台26-6
TEL:045-814-3001
FAX:045-814-3007